議会報告会　会場報告書

担当班：３班　　班代表者：　　栗山　泰三

概要			
地区名　：福住地区 日時　　：令和４年　５月　13 日（金） 19：30～：21：00 場所　　：福住コミュニティセンター 参加人数：36 人(男 36 人・女 0 人)	【出席議員】 栗山泰三 隅田雅春 足立義則 上田英樹 小畠政行	（１）開会あいさつ　：栗山泰三 （２）議会報告　　：DVD （３）質疑応答　　：下記の通り （４）意見・提言等　：下記の通り （５）閉会あいさつ　：隅田雅春	挨拶・総括　　：栗山泰三 司会進行　　：上田英樹 報告　　：DVD 記録　　：小畠政行 ：足立義則 会場（マイク）　：隅田雅春

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・昨年、東雲高校を活性化するということで、市長から１回だけ説明をいただいたが、今回の活性化市民会議は同じ組織のものなのか。 ・なぜ市内高校の生徒が定員割れしているのか。	・福住地区における市長との懇談会については存じ上げていませんが、高校３校活性化の課題の一つとして、オープンスクール時の学校側のプレゼンテーションがあまり良くなかったと中学校の先生からご意見をいただきました。それを受けてプレゼンテーションに力を入れてほしいとお願いした結果、前回と比較する

	と、とても熱のこもったプレゼンテーションになっていたという報告は聞いています。
・議員定数について18名ということで、3名欠員になっているが、どれくらの期間欠員があったのか。 ・また欠員によって生じた具体的な不具合をお聞きしたい。	・欠員3名について、令和2年5月に18名でスタートし、令和3年3月、4月、9月末に1名ずつ辞職されましたので、3名欠員になったのは10月からです。 ・具体的な不具合について本市は19地区あるので、議員も19人いれば各地域の課題を吸い上げ、コミュニティとして十分な話し合いをするなど、身近な議員としての役割が果たせると考えています。しかし15人の現状においては個人が活動範囲をいかに広げたとしても、充分な役割を果たすことが難しいと考えています。人口は減少傾向にありますが広大な土地面積は変わりません。地域の要望は多種多様化してきている中で、市民の声を行政に届けるためには議員の数は一定数維持しないといけないと考えました。委員会は5人で審査していますが、多様な意見が出なかったり、意見が偏ってしまうこともあるため、たった1人ですが6人で審査した方が適正な審査ができるのではないかということで、定数18人が妥当であると判断しました。
・獣害対策の事業説明がなかったのだが。	・12月・3月議会での審議内容に含まれていませんが、当初予算で事業予算計上されています。電気柵、バッファゾーンに取り組み、地域からの要望があれば対応します。
・政務活動費の支出と比べて返還金が多くなっている印象を受けるが、会	・毎年計画を立てて活動していますが、昨年度については緊急事態宣言また、まん延防止

派毎に年間計画などは立てるのか。次回からは表の下にどういった活動を実施したということを記載してもらうとわかりやすい。返還額が多すぎて活動を全く実施していないのではないかと疑ってしまう。	措置の発令もあって、会派の会合ですら集まることを自粛していました。 　調査研究についても、先進地視察等で使用しますが市外に出ていくことが出来なかったことから、市内で新しい活動をされている方のところや、移住されてきた方に篠山の魅力を聞いてみるなど、調査対象を市内に変更したことで、支出も少なくなっています。 　また、視察研修に行きたいと申し入れても、コロナの関係で受け入れ拒否される自治体も多くありました。令和 3 年度の支出額が少ない理由は、コロナウイルスの影響が原因であると認識しています。次回からは活動内容を記載してはというご意見については、ごもっともであると思いますので、持ち帰り検討させていただきます。
・有償運送に取り組んでいるが、今暗礁に乗り上げている状況である。昨年アンケートを取って、8 割くらいの方が有償運送を利用したいという結果になったので、市の担当部署とも相談をしているが、372 号線は新規グリーンバスが、原山口からは京阪交通が運行している。時間的空白と、面の空白について、どのようにクリアしていこうかと検討している。実施に向けて市の支援もいただきたいし議会からもバックアップをしてほしい。	・西紀北地区は過疎地有償運送を行っています。物（車）は貸してもらえますが、人員については地元が確保しなければなりません。 　週に何回運行する予定かによって必要な人員数が変わってきますし、西紀中地区も公共交通が走っていますが重複できないという決まりがあります。ルートと地域ニーズをきちんと把握していただき、地域の人がボランティアでドライバーをしていただけるのかなどを、地域で改めてお話いただいて、福住地域の最良について担当部署を交えながら検討していただければと思います。
・小グループへの講師謝礼に半額程度補助金があればいただきたい。	・お聞きした内容について、持ち帰り検討します。言われました伊勢音頭の講習に対して文化

	財を守る補助事業が使用可能かどうかも併せて確認いたします。
・数十年度には相当な世帯数の減が予想されるが、空き家や耕作放棄地も増加するだろうと思う。家主や地権者が草刈り等をしっかりしてくれるならいいが、出来ていないところもある。市に要望も出し続けるが、集落の景観にも関係してくるため、解決策について検討してほしい。	・固定資産税の納付封筒の中に「お持ちの空き家を今後どうされますか、売却や整地するなど適正な対応をお願いします。」といった黄色の通知を入れて発送することで、放置してはいけないという啓発につながり、売却された方のお話も聞いています。 　ただ、ここ数年は篠山の古民家に住みたい・購入したいといった相談も増えていると聞いています。
・過疎法について、どういった事業に適用されるのか教えてほしい。 ・関係人口案内所を設けると聞いているが、どの地域にどのくらいの人数をと決まっているのなら教えてほしい。	・適用事項は、農林水産業・商工業・情報通信・交通・生活環境・子育て環境・高齢者の保健・医療・教育・集落・地域文化等です。 ・道路や地域の課題を拾い上げて過疎計画を立てて欲しいと行政にお願いしました。現行の過疎法は有利な起債をハード・ソフト事業両方に適用される可能性がありますし、自治会単位の説明は厳しいかと思いますが福住地区もしくは旧多紀地区として担当部署が地域の課題等を吸い上げるような機会を設けると思います。７月くらいまでに計画を策定して９月か１２月議会に上程される見込みです。 ・関係人口案内所ということから、専用ブースが設置されるものと思っていましたが、そういうものではありません。ホームページ等を活用して課題情報を発信し、解決に取り組もうとする市民以外の人材をマッチングさせるための仕組みづくりのことを言います。今年度からの事業な

	ので、皆様のご協力を頂きながら進めていきたいと思っています。